

ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館(ジオパーク推進室)
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

行事報告

1月19日(土)埼玉県入間市より豊岡高校開放講座OB会の方がジオツアーを行いました。
自然史館内を見学した後、青岩公園・下仁田層の貝化石、川井の断層などのまちなかジオサイト見学をしました。

1月22日(火)第6回『下仁田ジオ・歴史遺産応援団』を開催しました。

今回も33名の方にご参加いただき、「妙義山の生い立ち・歴史的にみた妙義山」について学習しました。

中島 啓治先生と秋池 武先生のお二人に講師を務めていただき、中島先生からは、地殻変動によって起きた陥没後大小さまざまなブロックに分かれた断層が別々の動きをしたためにできた世界的にみても珍しい妙義山の地形の謎についてお話をいただきました。

続いて秋池先生からは、古代は「波己曾神(はこそじん)」と呼ばれ信仰されていたこと、江戸時代には「上州妙義詣で」として遠方からも訪れる人がたくさんいたことなど妙義山の信仰の歴史についてお話がありました。



▲第6回 下仁田ジオ・歴史遺産応援団

1月23日(水)県西南地区商工会婦人部の方29名がジオツアーを行いました。

午前10時～午後12時までの2時間の中で、下仁田ジオパークDVD・自然史館内見学・跡倉クリッペのすべり面のジオツアーとなりました。

1月29日(火)『下仁田ジオ・歴史遺産応援団』臨時学習会を開催しました。

今回は、埼玉県飯能市でエコツーリズム活動をされている城戸先生、加藤先生、廣木先生、3人の先生にお越しいただき、エコツーリズムと下仁田ジオパークが取り組んでいるジオツーリズムについてご講演いただきました。

飯能市のエコツーリズムを参考に、下仁田ジオパークのジオツーリズムも充実させていきたいと思っております。

行事予定

観察会『下仁田町の基盤岩を見る』

日 時：3月10日(日) 午前9時～午後12時

集 合：下仁田町自然史館

内 容：青倉川から南牧川を観察します。

申し込み：ジオパーク推進室 ☎70-3070



▲南牧川の様子

ネギとコンニャク・ジオパーク

南牧川流域の石灰岩は、古生代(約5億～2億5千万年前)に、海水に溶けた石灰岩が沈殿・堆積してできたものと考えられる。青倉の石灰岩は良質で、昭和初期より商品化が進められ、ゴムの補強充填剤、塗料、製紙、飼料、食料品など用途も広く、下仁田町の発展にも大きく貢献してきました。

※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています。ぜひお出かけください。

問い合わせ先 下仁田町自然史館(ジオパーク推進室) ☎70-3070

「下仁田ジオ・歴史遺産応援団」第8回学習会を開催します。

第8回学習会は、「荒船風穴蚕種貯蔵所跡現地説明」です。現地で説明を聞いた後、役場にて修了証授与式を行います。

集合場所：下仁田町役場駐車場（乗り合わせて荒船風穴へ向かいます。）

日 時：平成25年3月30日（土） 午後1時集合
午後1時30分～3時（荒船風穴）
午後3時30分～5時（役場）

ガイドは無理でもジオパークや世界遺産に興味があって学習したいという方も募集しています。今までに受講されていない方も参加できますので、お申込みください。

申し込み先 下仁田ジオパーク推進室 ☎70-3070
ふるさとセンター ☎82-5345

ふるさとセンターだより

ふるさとセンター“新”展示紹介「鬼ヶ沢鉄橋を走る旧上野鉄道」



ふるさとセンター所蔵

写真は、旧上野鉄道の車両を移したものです。材木を積んだと思われる貨物と3両の客車を力強くけん引し、鬼ヶ沢橋梁を渡る姿が写されています。

～下仁田の歴史を今に伝える～

ふるさとセンター ☎82-5345

臨時職員募集

教育委員会では次のとおり臨時職員を募集します。

- 業務内容 ふるさとセンター運営に関する補助事務及び受付・清掃
- 募集人員 1名（月15日程度）
- 業務内容 文化財に関する補助事務
- 募集人員 1名（月20日程度）
- 採用期間 平成25年4月1日から6ヶ月間（予定）
- 申し込みについて

①市販の履歴書用紙に必要事項を記入（写真添付）し、教育委員会文化財保護係（事務所：ふるさとセンター）に提出してください。

②申込期限は、平成25年3月1日から3月14日までの8時30分から午後5時15分まで

③面接日は後日通知します。

問い合わせ 教育委員会文化財保護係（ふるさとセンター内） ☎82-5345